

令和7年度 第2回

旭市地域包括支援センター運営協議会

令和8年2月10日（火）

高 齢 者 福 祉 課

目次

地域包括支援センター運営協議会

1 旭市地域包括支援センター設置状況について	1
2 令和8年度 地域包括支援センター事業計画(案)	
(1) 基幹型地域包括支援センター重点活動計画(案)	2
(2) 中央地域包括支援センター事業計画(案)	5
(3) 東部地域包括支援センター事業計画(案)	8
(4) 北部地域包括支援センター事業計画(案)	11
3 令和8年度地域包括支援センター関係予算(案)	
(1) 基幹型地域包括支援センター関係予算(案)	14
(2) 中央地域包括支援センター関係予算(案)	15
(3) 東部地域包括支援センター関係予算(案)	19
(4) 北部地域包括支援センター関係予算(案)	21
4 介護予防支援業務委託事業所について	
中央	23
東部	24
北部	25

1 旭市地域包括支援センター設置状況

R8.1.31現在

名称	旭市基幹型地域包括支援センター	旭市中央地域包括支援センター	旭市東部地域包括支援センター	旭市北部地域包括支援センター
担当地域	旭市全域	旭地域（中央小、富浦小、矢指小学校区）	海上地域（鶴巻小、滝郷小、嚶鳴小学校区） 飯岡地域（三川小、飯岡小学校区）	旭地域（豊畑小、琴田小、干潟小、共和小学校区） 干潟地域（中和小、萬歳小、古城小学校区）
高齢者人口（R7.10.1現在）	20,275	6,800	6,458	7,017
設置運営	旭市	社会福祉法人ロザリオの聖母会	社会福祉法人旭市社会福祉協議会	社会福祉法人旭福祉会
郵便番号	289-2595	289-2516	289-2712	289-0518
住所	旭市ニの2132番地	旭市口の838番地	旭市横根3520番地	旭市秋田1689番地2
電話番号	62-5433	85-5371	74-3433	68-2055
FAX番号	62-2170	85-5372	57-2836	68-2056
メールアドレス	houkatsu@city.asahi.lg.jp	chuoh-houkatsu@rosario.jp	asahi-toubuhoukatsu@cpost.plala.or.jp	yasuragi-houkatsu@juno.ocn.ne.jp
管理者	山口 明美	平野 秀樹	塙 幸江	勝股 晴美
専門職 主任介護支援専門員	平山 真弓	井上 創 -	塙 幸江 -	加瀬 百合子 -
保健師 （地域ケア・地域保健等に関する経験のある看護師含む）	山口 明美 菱木 千春	高安 きみ江 高森 華子	穴澤 綾	大須賀 彩友美
社会福祉士	木原 希望	平野 秀樹	林 理津子	勝股 晴美 大西 秀樹
その他	-	-	-	渡部 桜（常勤・兼務） （歯科衛生士）
事務職	伊藤 伸弥（常勤・兼務）	安重 咲花（常勤・兼務）	石井 麻美（常勤・専従）	武井 信子（常勤・兼務）
生活支援コーディネーター	大橋 浩美（保健師） 片山 美和（社会福祉士） （第1層生活支援 コーディネーター）	江波戸 理恵 （常勤・認知症地域支援推進員第2 層生活支援 コーディネーター） （社会福祉士）	-	-

2 令和地域包括支援センター事業計画（案）

（１）基幹型地域包括支援センター重点活動計画

1 令和7年度の重点活動方針と実績・評価

1) 認知症施策の推進と在宅における医療・介護の支援

認知症の予防と、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりのため、認知症に対する理解を深め、広く周知して行く。

【実績・評価】

令和7年度から認知症当事者参加型の活動の畑作業「あさひキッチンガーデン」を開始。民間の協力者、地域包括支援センター、介護事業所、病院、認知症サポーターなど多職種、多団体と協力し参加者からの好評価を得ている。参加者も認知症の方に限らず、介護予防、障害者、障害児など重層的支援にもつながりを見せている。

認知症啓発活動と地域づくりとして、市内小中学生の他、市役所職員等を対象とした認知症サポーター養成講座を（13回、245人、R7.12現在）開催し、講座修了生（認知症ポーター）を含む「チームオレンジ」として、啓発活動や家族会でのサポートの協力いただいている。

周知活動として、認知症をテーマとした映画上映会や9月のアルツハイマー月間に旭中央病院において掲示を行った。

本人ミーティングと家族会を各地域包括支援センターで開催。地域により参加者数に差が生じているため、活動内容を見直す必要がある。

2) 介護予防と日常生活支援総合事業の推進

地域のつながりの中で高齢者が互いに支えあい、元気なうちから生活機能の低下を予防するための活動に取り組んでいけるよう、知識の普及や意識啓発、通いの場の活用を推進する。

【実績・評価】

リハビリ専門職からのアドバイスにより、栄養状態の改善と筋力をつけることを目的とし、今年度から同行訪問事業・訪問C事業・地域ケア個別会議へ管理栄養士を導入した。栄養士導入件数として、同行訪問6件、訪問C申請1件、地域ケア個別会議9回（R7.12月末現在）であった。今後も住民と専門職への周知を行っていく。

通いの場の新規設置はなかったが37団体が活動継続中。（解散1団体、活動休止中1団体）各団体はスカットボール、茶話会等それぞれ自主的に内容をアレンジして活動している。令和8年度は1周年団体がいないので、地域ごとにリハビリ専門職による体力測定や運動内容の再点検を実施してみても良いと考えている。地域のリーダーとなる人材の発掘を進める必要がある。

3) 民生委員やインフォーマルサービス等の地域ネットワーク作り

【実績・評価】

民生委員全体研修・地区定例会に地域包括支援センターと高齢者班担当者が参加し、それぞれの役割や活動についての説明を実施。随時相談できる体制を取っている。

生活支援コーディネーターの打ち合わせを毎月実施。生活支援コーディネーターや包括職員により通いの場の巡回指導を行い、活動支援を継続的に行っている。通いの場全体大会にて、城西国際大学から講義を行い、通いの場で行われている「あさピーきらり☆体操」の予防効果の裏付けと継続の意識付けができた。

4) 防災対策・感染症対策と災害時支援対策の充実

自然災害が発生した場合における要介護者等の情報伝達および避難支援、介護事業所等との情報伝達・支援体制の構築を深化させる。

【実績・評価】

災害時対応の意識を継続して持ち続けるために、毎年研修会を開催している。今年度は業務継続計画（BCP）作成の確認と、7月にケアマネ対象の避難所運営ゲームを行い、避難時の住民の特性を把握し対応を急がなければならない意識づけを行った。また、福祉避難所を中心に関係課、関係機関と協議を継続している。

5) 相談支援体制の強化

高齢者がひとり暮らしで身寄りが無い、家族との関係性が悪化している、生活困窮や障害を抱える等、相談内容が複雑化、多世代化しているケースの増加があることから、関係機関との連携強化と対応力の強化により地域共生社会の推進を図る。

【実績・評価】

同居家族がいても精神障害または知的理解力が原因で介護力・経済力が欠如している、外部任せで自分事として解決に至らない、生活困窮や身元引き受け、住まいの問題や、ネグレクトと思われるケースを多く対応。

6) IT化推進の準備

【実績・評価】

地域ケア実務者会議にてケアプランデータ連携システムの紹介と、主任ケアマネ研修会にて、介護情報基盤整備とこれからのケアマネ業務へのICT活用推進に向けた研修会を実施。

2 令和8年度の重点活動方針

1) 認知症施策の推進

- ・認知症当事者参加型の活動の畑作業「あさひキッチンガーデン」の定着。
- ・認知症家族交流会、本人ミーティングの周知。

2) 介護予防と日常生活支援総合事業の推進

- ・既存の通いの場において、リハビリ専門職による体力測定や運動内容の再点検を実施。
- ・地域のリーダーとなる人材の発掘を意識した、講座の実施。

3) 在宅医療・介護連携の推進

- ・緊急時対応の強化として、緊急連絡カードやキットの配布と年1回の更新を行い、私の希望ノートを同時に準備することで、一人暮らしの方などの緊急対応が円滑に行われる体制を整備する。
- ・緊急ショートステイを市内介護施設での本格運用に向けて検討を進めて行く。

4) 防災対策・感染症対策と災害時支援対策の充実

- ・福祉避難所の整備を関係各課、関係機関と協議し進める。
- ・課内 BCP の見直し

5) 相談支援体制の強化

- ・社会福祉士連絡会や虐待連絡会などにより、身寄りのない高齢者や生活困窮、住まいの問題などの課題を共有し、支援体制の構築を推進する。

(2) 旭市中央地域包括支援センター事業計画（案）

担当地域	旭地域（中央小、矢指小、富浦小学校区）
高齢者人口（高齢化率） R 7 年 10 月 1 日現在	小学校区内人口／65 歳以上／うち 75 歳以上／（高齢化率） 中央地区 13,914／ 4,207／ 2,404 ／（30.2%） 矢指地区 3,444 ／ 1,281 ／ 695 ／（37.2%） 富浦地区 3,653 ／ 1,312 ／ 723 ／（35.9%） 中央地域全体 21,011 ／6,800 ／3,822 ／（32.4%）
運営形態	委託（機能強化型）
職員配置状況	5 名（常勤）＋1 名（事務員、非常勤） 主な資格：主任介護支援専門員、作業療法士、看護師、 社会福祉士、精神保健福祉士、認知症地域支援推 進員、生活支援コーディネーター 災害支援ケアマネジャー、防災士
地域特性・地域の課題	
(1) 中央小学校区 JR 旭駅を中心とした周辺市街地においては、空き家が目立っている。見守りや声かけが必要な独居世帯・高齢者世帯が増加しており近隣住民とのコミュニティの希薄化から生活状況が把握しにくい世帯が多い。一方、コロナ禍によって控えていた祭禮や町内活動が近年は再開されてきている事や、若い世代による地域にむけた様々なイベントが活発に行われてきており地域が活性化されてきている。「通いの場」の設置状況については中央小学校区で 9 カ所設置されているが設置状況に偏りがある。近隣に「通いの場」がないことから社会参加ができない高齢者も多くいる。ケース対応や訪問調査等の業務の中から生まれる住民の方との「繋がり」を大切にする事で潜在化されている支援ニーズの発掘に努める。 (2) 矢指小学校区 海岸にも面しているこの地区は、農業・漁業を中心に構成された地域である。海岸付近は空き家が多い。また、生活を支える商業施設も限られているため、交通弱者への地域課題等に対して検討していく。防災減災については、津波や液状化被害対策を軸とした地区防災計画を必要としている。住民同士の繋がりが強く、「通いの場」においても団体数が少ないものの一団体の参加者数が多い事が特徴的である。自発的に活動後にレクリエーションをして住民同士で楽しんだりしている。住民同士で高齢者の暮らしを見守る意識も強く民生委員や近隣住民の方から相談を頂くケースが他の地域より多い。 (3) 富浦小学校区 海岸に面しているこの地区も農業・漁業に関係した家庭が多く、働く高齢者が多い。働く事が介護予防にも繋がっているのか相談件数が他の地域よりもやや少ない。「通いの場」はないが住民同士の馴染みの関係がある。様々な社会資源を見つめ直す事で「参加の場」を確立し住民の自立した暮らしを支援したい。一方、商業施設等が少なく、医療機関・公的機関・店舗等への移動が困難な方も増えつつあり、交通弱者への地域課題等に対して検討していく。	

令和8年度事業計画

- 運営管理①：地域包括支援センター業務の運営と管理（6年目）。
- 運営管理②：介護予防・日常生活支援総合事業の見直し。
- 運営管理③：機能強化型センターとして行う役割の実務（医療連携、権利擁護等）。
- 運営管理④：（第2層）生活支援コーディネーターの円滑な実施
- 事業評価を受けて実施するPDCAサイクルの実施。

【令和8年度活動方針】

1) 認知症施策の推進

認知症地域支援推進員を中心に以下の認知症施策に対して積極的に取り組む。

- ・認知症の人が自らの意思を発信できる場（えがおのたまり場くらぶ・交流会・認知症カフェ等）や色々な方が参加できる活動の場（あさひキッチンガーデン）を継続して取り組む。
- ・認知症の人が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、地域住民等に対し認知症に対する正しい理解を得られる機会を提供する。
- ・認知症の人やその家族等を地域で支える「チームオレンジ」の活動支援を行う。
- ・認知症の人の地域活動や就労的活動等、社会参加の促進を図る。
- ・認知症初期集中支援チームへの協力と医療連携の推進を図る。

2) 在宅における医療・介護の支援

- ・医療機関と連携し医療依存度の高い高齢者の人の暮らしを支援する。
- ・救急医療ネットワーク会議、多職種連携会議を実施し介護医療連携の強化を図る。
- ・医療機関からの帰宅困難者や身元不明者等の相談対応を行う。

3) 介護予防と日常生活支援総合事業の推進

- ・介護予防・日常生活支援総合事業の活用手続きの理解不足の改善を図る。
- ・生活支援コーディネーターを中心に生活支援体制整備事業の拡充を図る。住民同士で取組まれている介護予防に資する活動を支援する。
- ・民間サービスや健康増進施設等の効果的な活用を図る。
- ・多様なサービスの担い手の支援を継続して行う。
- ・多様なサービスが維持・拡大できる様に地域の方との繋がり大切にしていける。
- ・多様なサービスの効果を検証し、利用の促進を図る。
- ・健康課題へ着目し、健康づくり課と連携し発症予防に向けた地域への働き掛けを検討する。

4) 民生委員やインフォーマルサービス等の地域ネットワーク作り

- ・民生委員及び介護予防サポーターと連携し高齢者の暮らしを支援する。
- ・各地区の地域課題に対して、町内会及び老人クラブ等の市民団体と協働し地域課題への改善に向けた働き掛けを行う。
- ・地域住民の方との繋がりを大切に、地域のネットワーク作りに取り組む。
- ・旭市の民生委員の8割が改選となっている。新たに民生委員の方との連携体制の構築を図る。

5) 防災対策・感染症対策と災害時支援対策の充実

- ・災害時の実働や情報伝達等に基づいたシュミレーション活動を実施する。

- ・BCPの発動基準を明確にし、誰もがBCPを活用できる様に備える。
- ・感染症対策については法人の動向に沿って対応を図る。
- ・独居高齢者や高齢者世帯へ「緊急連絡カード」や「救急キット」の設置状況の確認を行い災害への備えについて改めて確認をする。

6) 相談支援体制の強化

- ・身寄りのない方・子育て支援・精神科医療・生活困窮・家庭内暴力・土地家屋及び財産の管理など、高齢者支援には多くの問題が付随する。各々の専門機関と連携し多分野連携できる地域づくりを心掛け、地域共生社会の推進を図る。
- ・高齢障害者問題に対してスムーズな対応ができる様、障害者支援機関や自立支援協議会等との連携を図る。
- ・「地域ケア会議」を様々な支援機関が自発的に活用できる体制を検討する。
- ・「地域ケア会議」にて行政と連携し地域課題の改善に向けた働きかけを行う。
- ・高齢者虐待防止指針に則った虐待防止対応の平準化を図る。

7) 情報通信技術（IT）の推進による連携の強化

- ・ICT技術などの活用により生産性向上や協働化、利用者支援の向上に取り組む。
- ・ケアプランデータ連携システムの効果的な運用及び活用を図る。
- ・相談者の情報については管理を徹底する。

【令和8年度評価指標】

1	総合相談、個別支援（随時対応）	毎月
2	多様なサービスを活用した介護予防ケアマネジメント	10人以上（実人数）
3	「通いの場」サポート支援（設置数を維持継続）	13か所
4	「通いの場」立ち上げ支援	1か所
5	「個別ケア会議（随時開催型）」	随時
6	「えがおのたまり場交流会」（他地域参加含む）	12回程
7	「えがおのたまり場くらぶ」	6回以上
8	「チームオレンジ」	活動推進
9	「新たな住民活動」支援	1か所以上
10	BCP（事業継続計画）研修、訓練	1回以上
11	虐待防止委員会の実施	4回以上
12	IT技術の効果的な活用	随時

(3) 東部地域包括支援センター事業計画（案）

担当地域	飯岡地域・海上地域				
高齢者人口（高齢化率）	小学校区内人口	65 歳以上	うち 75 歳以上	高齢化率（％）	
	鶴巻地区	2,851	1,056	553	37.0
	滝郷地区	1,748	674	364	38.6
	櫻鳴地区	5,526	1,554	768	28.1
	飯岡地区	4,411	1,880	1,084	42.6
	三川地区	3,794	1,294	700	34.1
	東部地域全体	18,330	6,458	3,469	35.2
職員配置状況	主任介護支援専門員 1 名、社会福祉士 1 名、保健師 1 名 事務 1 名				
地区特性・地域の課題					
【飯岡地域】 この地域は、漁業や農業に従事する世帯が多く、一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯が増加している。飯岡小学校区は、市内の他の地区と比較して高齢化率は高い。 地域とのつながりが根強い地域であり、見守りや支援が充実し相談ケースは比較的少ない。高台にある地区は農家が多く高齢でも農作業をしている方が多い。介護が必要になった時は皆仕事をしている為、どうしたらよいか分からなくなってしまう。畑仕事をしている方が多く、それが予防になっているのか通いの場等へ参加する方も少ない。医療機関や大型食料品店が少なく、町の主要道路を走っている市のコミュニティバスの運行本数も少ない為、移動手段に困ってしまう方が多い。 【海上地域】 櫻鳴小学校区は近隣からの移住者が多く、新しい分譲地の戸建てに住む子育て世帯と昔から生活している世帯があり、高齢化率は市内の他の地区と比較して低い。飯岡駅周辺には薬局や学習塾、洋品店等の商店はあるが大型食料品店はない。移動や買い物に関する相談を受けるが、地区としては働く世代が多いため、移動スーパーの拠点となるところが少ない。道路や区画が整備された生活しやすい地区と山間部に分かれており、山間部では買い物や移動が困難な世帯が多い。 【地域の課題】 ・現役で農業等を営んでいる方は、農作業が介護予防や生きがい・役割につながり、健康寿命の延伸につながっていると考えられる。 ・免許を返納した場合、公共の交通手段が少なく、年末年始はコミュニティバスも休業する為、買い物や通院が困難である。 ・地域のつながりが根強い地区と希薄化している地区があり、地域差がある。 ・他の地域と比べて「通いの場」が少なく、徒歩で通えるところが少ない。 ・一人暮らし高齢者、高齢者のみの世帯では親族が遠方にいて、どこへ相談したら良いか分からない方もいる。 ・地域資源、高齢者の生活支援ニーズの把握、不足するサービスの創出や担い手不足。					

令和8年度事業計画

【事業計画】

- 1 認知症の方やその家族が安心して暮らせる共生型地域を目指し、認知症家族交流会、認知症サポーター養成講座等を開催し、認知症の方や家族、地域等へ認知症に関する普及啓発活動を実施する。
 - ・ あさひキッチンガーデンの活動
 - ・ 認知症サポーター養成講座の開催
 - ・ えがおのたまり場交流会
 - ・ 地域で認知症啓発イベントの参画・開催
 - ・ 認知症カフェ等を市と協力し立ち上げる
 - ・ 住み慣れた地域で自分らしく暮らせるような地域での見守り体制づくり
 - ・ 受診や介護サービスに繋がらない認知症高齢者、家族からの相談を受け、認知症初期集中支援チームを活用し、認知症になっても住み慣れた地域で自分らしく生活できる支援体制の強化
- 2 心身の生活機能の低下を防ぎ、介護予防・重度化防止に取り組む。
 - ・ 短期集中予防サービスの活用を促進させるため、市内ケアマネジャーへ短期集中予防サービスの利用方法や自立効果について再周知する
 - ・ 地域リハビリテーション事業を利用者の自立支援を目的に積極的に活用する
 - ・ 「通いの場」活動拠点の維持継続等支援、新規立ち上げ支援（特に三川地区、海上地区の主に山間部）
 - ・ インフォーマルサービスや多様なサービスの周知、活用
 - ・ 各専門職と質の向上や相互理解を深め、介護予防、自立支援を目指した地域ケア個別会議の継続
- 3 地域共生社会の実現に向け、民生委員・地域住民が地域をサポートし主体的な活動に参画し一体となって地域を支えていける地域づくりを行う。
 - ・ ボランティア・インフォーマル周知提供
 - ・ 個別事例を通し多職種で課題を分析、抽出し必要な社会資源の検討、開発を推進
 - ・ 生活支援コーディネーターと連携し住民主体のサービス、生活支援、介護予防サービスなど地域の支え合いの仕組みづくりの推進
 - ・ フォーマルな社会資源とインフォーマルサービスな社会資源を有効的につなげるネットワークの構築
- 4 災害発生時や感染症蔓延時に地域包括支援センターの機能が停止せず業務を継続できるよう業務継続計画に基づき、訓練や研修を通して有事に備える。
 - ・ BCP（事業継続計画）訓練・研修の実施
 - ・ 高齢者が安心して避難できる福祉避難所等の整備を市と協力し取り組む
 - ・ 有事に備え自力避難が困難な高齢者を把握し、速やかに安全に避難できる体制を構築

5 相談内容が複合化・複雑化しているため、多職種協働による地域包括支援ネットワークを構築し切れ目のない相談支援体制、ワンストップ相談窓口を目指し総合相談業務の強化を図る。

- ・多職種協働による地域包括支援ネットワークの連携、研修会等の開催
- ・介護支援専門員への支援強化（困難事例の個別課題解決および支援等）
- ・地域ケア会議（定期、随時）開催による地域課題の抽出
- ・成年後見制度等の普及啓発活動の実施、利用促進
- ・虐待の早期発見に向け、多職種からの相談があった際は速やかに市へ報告し、高齢者の安全を守るための対応を行う
- ・地域活動へ参加し地域包括支援センターの周知を行っていく
- ・医療・介護保険サービスや介護保険外のサービスの情報提供、連携
- ・複合的で複雑に絡み合う様々な生活課題に対処するため、分野横断的、制度横断的な連携強化、対応力強化をする

6 将来的なITを用いる事で利便性、現場での生産性の向上を図る。

- ・ケアプランデータ連携システム導入等に向けた準備

(4) 北部地域包括支援センター事業計画(案)

担当地域	旭市北部地区:干潟・共和・琴田・豊畑小学校区 萬歳・中和・古城小学校区
高齢者人口（高齢化率）	小学校区内人口／65歳以上／うち75歳以上／高齢化（％） 琴田地区 2,739／ 771 ／ 401 ／ 28.1 共和地区 5,101／ 1,503 ／ 764 ／ 29.5 干潟地区 4,226／ 1,062 ／ 613 ／ 25.1 豊畑地区 3,769／ 1,272 ／ 728 ／ 33.7 中和地区 1,797／ 740 ／ 397 ／ 41.2 萬歳地区 1,585／ 654 ／ 372 ／ 41.3 古城地区 2,624／ 1,015 ／ 551 ／ 38.7 北部地域全体 21,841 ／7,017 ／ 3,826 ／ 32.1
職員配置状況	主任介護支援専門員 1 名 社会福祉士 2 名 保健師 1 名 歯科衛生士 1 名(兼務) 事務 1 名(兼務)
地区特性・地域の課題	(1)萬歳・中和・古城小学校区 農業を営む世帯が多く多世代での同居も多いが、独居や高齢者世帯も増加している。高齢化率は40%を超えており市内で最も高齢者が多い地区のひとつといえる。地域のつながりが強く、通いの場も多い。高台に位置する地域は特に交通の便が悪く、デマンド交通や移動販売利用者も増えているが依然として移動手段の確保が課題。 (2)干潟・共和・琴田小学校区 新興住宅地が多く地域の繋がりが薄い地域と、昔から住んでおり繋がりが強い地域が混在している。高齢化率は他区域と比べて低い。国道に近く、コンビニやスーパーも点在しており生活に必要な資源は比較的整っているといえるが、人口が多い分相談件数も多くなっている。 (3)豊畑小学校区 昔からの農家や自営業を営む世帯と近隣から新しく移住してきた世帯が混在している。国道から離れておりスーパーやコンビニも少ない。高齢化率は他区域と比べるとやや低く、相談件数も少ない。通いの場も1つのみで、自立した高齢者が多い印象。 【地域の課題】 ○地域の繋がりが強く見守りが充実している地域、新興住宅地でつながりが希薄な地域、一軒一軒が離れており孤立しやすい地域、等地域差が大きく課題が様々であるため、地域の特性に合わせ、世帯に寄り添った支援が必要。

	○身寄りのない高齢者、支える家族が高齢、親族関係が悪く支援がない、家族自身が障害や生きづらさを抱えている、生活困窮、精神疾患を抱える高齢者など、複雑な相談内容が急増している。ワンストップ窓口として多様な相談内容に対応ができるような体制を整えることが重要と感じる。 ○地域柄バス停や駅まで遠く、公共交通手段が利用しにくいいため移動手段の確保に困る方が多い。デマンド交通の幅が広がり、移動手段の一つとして浸透してきているが、地域の活性化を図るためにも、移送サービスの充実は必要と考える。 ○萬歳・中和・古城小学校区は土砂災害警戒区域となっている地区があり、かつ独居・高齢者のみ世帯が多い。高台に位置する世帯は災害時に孤立する危険がある。常に地域包括支援センターとしての災害に対する支援体制を整えておく必要がある。
令和8年度事業計画	【活動方針】 (1) 地域共生社会の実現に向け、高齢者福祉課をはじめ関係機関、医療機関等との連携を強化していく。また、民生委員・地域住民と連携しやすい関係づくりを行い、地域のネットワークづくりに取り組む。 ・民生委員、地域住民と相談しやすい関係づくりを行う。 ・高齢者を取り巻く関係機関と日ごろから連絡を取り合い、支援しやすい体制を整える。 (2) 住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる優しい地域づくりを目指す。 ・通いの場の見守り、支援、ボッチャやミニ講座などの開催を行い、介護予防に取り組む。 ・生活支援コーディネーターと連携し、社会資源の開発、発掘に努めていく。 (3) 認知症の方やその家族が安心して暮らせる地域づくりを目指し、様々な活動の主催・支援を行う。 ・認知症サポーター養成講座やえがおのたまり場の開催、あさひキッチンガーデンへの参加を行う。 ・認知症関連のイベントの開催、参加を行う。 ・認知症関連の相談に対し、認知症初期集中チームの活用や医療機関との連携をはかり、当事者とご家族ともに安心して生活ができるようサポートを行っていく。 (4) 多様な問題を抱えるケースの相談に対応できるよう、関係機関との連携強化を行い、総合相談窓口として支援体制の強化を

	図る。 ・様々な相談内容に対応できるよう、関係機関との連携を強化するとともに、個々のスキルアップにも努める。 ・困難事例に対し、地域ケア会議の活用を通じ課題の整理や関係機関との連携に努め、課題解決に努める。 ・成年後見制度等権利擁護に関する普及啓発、利用促進を行う。 (5) 災害や感染症発生など緊急時でも業務が継続できるよう、また必要な方に支援が行えるよう BCP の見直し、訓練、研修を行う。また、関係機関との情報伝達や支援体制の強化を行っていく。 ・BCPの随時見直し、訓練、研修を行う。 ・地域特性を理解し、要注意世帯の把握や連絡体制を整備し、災害発生時に速やかに支援体制がとれるよう努める。 (6) 業務のIT化の推進を図る。 ・ケアプランデータ連携システム導入に向け、準備をすすめる。 ・AI、チャットGPT、Teams 等の活用を行い、業務効率化を図る。
--	---

3 令和8年度 地域包括支援センター関係予算（案）

（１）基幹型地域包括支援センター関係予算（案）

（単位：千円）

項 目			内 容	予算額		比較	
				R8	R7	増減額	増減率
介護予防・生活支援事業費 総合事業費	1	総合事業に係る ケアマネジメント 事業	※包括委託により基幹型のケアプラン収入なし	-	-	-	-
			歳出	6,207	8,067	△ 1,860	△ 23.1%
			介護予防ケアマネジメント委託費（2,970件）	6,206	8,066	△ 1,860	△ 23.1%
			事業費負担金（住所地特例対象分）	1	1	0	0.0%
一般介護予防事業費	2	介護予防普及啓 発事業	歳出	142	202	△ 60	△ 29.7%
			報償費	0	23	△ 23	△ 100.0%
			需用費	142	179	△ 37	-
	3	地域介護予防活 動支援事業	歳出	275	245	30	12.2%
			需用費、報償費	275	245	30	12.2%
	4	地域リハビリテー ション活動支援 事業	歳出	508	521	△ 13	△ 2.5%
			報酬、報償費、費用弁償、備品購入費	84	80	4	5.0%
			委託料	424	441	△ 17	
包括的支援事業費	5	包括的・継続的 マネジメント事業	歳出	84,078	84,107	△ 29	△ 0.0%
			地域包括支援センター委託料	83,450	83,450	0	0.0%
			報酬、需用費、役務費、負担金、旅費	628	657	△ 29	△ 4.4%
	6	在宅医療・介護 連携推進事業	歳出	172	118	54	45.8%
			報償費	0	23	△ 23	△ 100.0%
			需用費 印刷製本費	172	95	77	81.1%
	7	地域ケア会議推 進事業	歳出	173	133	40	30.1%
			報償費、需要費	173	133	40	30.1%
	8	認知症総合事業	歳出	2,522	2,664	△ 142	△ 5.3%
			報償費、需用費、旅費、 使用料及び賃借料、負担金	2,522	2,664	△ 142	△ 5.3%
	9	成年後見制度利 用支援事業	歳出	1,587	1,585	2	0.1%
			旅費、需用費、役務費	267	265	2	0.8%
			扶助費	1,320	1,320	0	0.0%

(2) 中央地域地域包括支援センター運営事業に関する委託料予算書（令和8年度）

令和8年 1月 26日

社会福祉法人 ロザリオの聖母会
理事長 石毛 敦

1 収支

収 入	37,105,430
支 出	37,105,430
収 支	-

2 介護予防支援事業

(収入)

項目	金額 (円)	説 明
介護予防支援事業収入	2,227,680	内訳 継続 4,420円×492件(41件×12ヵ月) 委託継続 4,420円×12件(他県分)
合 計	2,227,680	

(支出)

項目	金額 (円)	説 明
人件費	540,720	給与 常勤職員4名、事務員0.3名
	114,162	賞与 //
	28,500	退職給付 //
	111,406	法定福利費 //
事業費	46,842	水道光熱費 電気、水道、下水道代
	13,330	燃料費 灯油代
	80,000	保険料 賠償責任保険、自動車保険料
	400,000	賃貸料 パソコン、コピー機、車輛、固定電話リース料
	107,660	車輛費 車輛燃料、ETC、駐車場代
事務費	43,330	福利厚生費 健康診断、予防接種
	27,600	旅費、研修費 研修参加費、日当
	86,660	事務消耗品費 請求システム利用料、zoomライセンス、文具等
	25,000	印刷製本費 コピー用紙、名刺、封筒代等
	145,000	通信運搬費 固定電話、携帯電話、切手代等
	3,300	会議費 会議用お茶代
	53,040	業務委託費 介護予防支援業務委託費(他県分)
	13,330	手数料 振込み手数料、ゴミ袋代
	14,000	建物賃借料 家賃代
	3,300	租税公課 収入印紙、消費税代
	96,000	保守料 コピー機カウント料
積立資産	274,500	退職給付引当金 共助会掛金
合 計	2,227,680	

3 包括の支援事業等

(収入)

項目	金額 (円)	説明	明
委託料収入	29,150,000	令和8年4月～令和9年3月	
本部借入	591,700		
合 計	29,741,700		

(支出)

項目	金額 (円)	説明	明
人件費	20,435,160	常勤職員4名、事務員0.3名	
賞与	2,484,670	〃	
退職給付	285,500	〃	
法定福利費	3,401,440	〃	
事業費	216,570	電気、水道、下水道代	
燃料費	22,940	灯油代	
保険料	192,000	賠償責任保険、自動車保険料	
賃貸料	960,000	パソコン、コピー機、車輛、固定電話リース料	
車輛費	185,190	車輛燃料、ETC、駐車場代	
事務費	74,540	健康診断、予防接種、食事補助代	
旅費、研修費	66,510	研修参加費、日当代	
事務消耗品費	149,070	zoomライセンス、文具等文具等	
印刷製本費	43,000	コピー用紙、名刺、封筒代等	
通信運搬費	496,470	固定電話、携帯電話、切手代等	
会議費	57,400	会議用お茶代	
手数料	22,930	振込み手数料、ゴミ袋代	
建物賃借料	178,880	家賃代	
租税公課	5,730	収入印紙、消費税代	
保守料	189,200	コピー機カウント料	
積立資産	274,500	共助会掛金	
合 計	29,741,700		

4 生活支援体制整備事業（第2層生活支援コーディネーター）

（収入）

項目	金額（円）	説	明
委託料収入	3,000,000	令和8年4月～令和9年3月	
本部借入	136,050		
合 計	3,136,050		

（支出）

項目	金額（円）	説	明
人件費			
給与	1,872,870	常勤職員1名	
賞与	380,330	〃	
退職給付	2,800	〃	
法定福利費	430,070	〃	
事業費			
水道光熱費	19,500	電気、水道、下水道代	
燃料費	2,140	灯油代	
保険料	18,000	賠償責任保険、自動車保険料	
賃貸料	89,000	パソコン、コピー機、車輛、固定電話リース料	
車輛費	17,230	車輛燃料、ETC、駐車場代	
事務費			
福利厚生費	69,400	健康診断、予防接種、食事補助代	
旅費、研修費	6,190	研修参加費、日当代	
事務消耗品費	13,870	zoomライセンス、文具等文具等	
印刷製本費	4,000	コピー用紙、名刺、封筒代等	
通信運搬費	41,070	固定電話、携帯電話	
会議費	540	会議用お茶代	
手数料	2,860	振込手数料等	
建物賃借料	106,640	家賃代	
租税公課	540	収入印紙、消費税代	
保守料	17,600	コピー機カウント料	
積立資産			
退職給付引当資産	41,400	共助会掛金	
合 計	3,136,050		

5 認知症施策推進事業（認知症地域支援推進員）

（収入）

項目	金額（円）	説	明
委託料収入	2,000,000	令和8年4月～令和9年3月	
合 計	2,000,000		

(支出)

項目		金額 (円)	説明	明
人件費	給与	1,248,580	常勤職員1名	
	賞与	253,560	〃	
	退職給付	19,000	〃	
	法定福利費	286,720	〃	
事業費	水道光熱費	7,620	電気、水道、下水道代	
	燃料費	1,600	灯油代	
	保険料	10,000	賠償責任保険、自動車保険料	
	賃貸料	51,000	パソコン、コピー機、車輛、固定電話リース料	
事務費	車輛費	12,920	車輛燃料、ETC、駐車場代	
	福利厚生費	5,200	健康診断、予防接種、食事補助代	
	旅費、研修費	4,640	研修参加費、日当代	
	事務消耗品費	10,400	文具等	
	印刷製本費	3,000	コピー用紙、名刺、封筒代等	
	通信運搬費	30,800	固定電話、携帯電話、切手代等	
	会議費	400	会議用お茶代	
	手数料	880	振込み手数料	
	建物賃借料	12,480	家賃代	
	租税公課	400	収入印紙、消費税代	
	保守料	13,200	コピー機カウント料	
	退職給付引当金	27,600	共助会掛金	
積立資産				
合	計	2,000,000		

(3) 東部地域包括支援センター運営事業に関する見積額 (令和8年度)

令和8年1月26日

旭市長 米本 弥一郎 様

社会福祉法人旭市社会福祉協議会
会 長 平 野 嘉 一

1 収支

収 入	30,124,000
支 出	30,124,000
収 支	0

2 介護予防支援事業

(収入)

項目	金額 (円)	説 明
介護予防支援事業収入	2,971,000	内訳 初回 7,380円× 5件 継続 4,380円×670件
雑収入	1,000	
合 計	2,972,000	

(支出)

項目	金額 (円)	説 明
人件費支出	4,832,000	
職員給料支出	2,855,000	1人分
職員賞与支出	1,000,000	〃
法定福利費支出	641,000	〃
退職手当積立基金預け金等支出	336,000	
事業費支出	162,000	
燃料費支出	56,000	ガソリン代
消耗器具備品費支出	8,000	コピー用紙他
保険料支出	59,000	賠償責任保険料・車輛任意保険料
車輛費支出	30,000	車輛修繕費
手数料支出	1,000	その他手数料
租税公課支出	8,000	軽自動車税
事務費支出	71,000	
福利厚生費支出	7,000	健康診断料
旅費交通費支出	7,000	出張旅費
研修研究費支出	5,000	研修費
手数料支出	5,000	その他手数料
賃借料支出	47,000	パソコンリース料
合 計	5,065,000	

3 包括的支援事業等

(収入)

項目	金額 (円)	説 明
委託料収入	27,150,000	令和8年4月～令和9年3月
受取利息配当金収入	1,000	
雑収入	1,000	
合 計	27,152,000	

(支出)

項目	金額 (円)	説 明
人件費支出	21,556,000	
職員給料支出	10,962,000	3人分
職員賞与支出	4,214,000	4人分
非常勤職員給与支出	2,202,000	1人分
法定福利費支出	2,877,000	4人分
退職手当積立基金預け金等支出	1,301,000	3人分
事業費支出	1,306,000	
介護用品費支出	16,000	介護用品他
燃料費支出	134,000	ガソリン代
消耗器具備品費支出	62,000	コピー用紙他
保険料支出	236,000	車輛任意保険料・賠償責任保険料
賃借料支出	498,000	車輛リース料
車輛費支出	30,000	車輛修繕費
諸謝金支出	10,000	講師謝礼
通信運搬費支出	308,000	電話代・携帯電話・ズームアカウント
租税公課支出	8,000	軽自動車税
食糧費支出	4,000	会議時の飲み物代他
事務費支出	2,197,000	
福利厚生費支出	28,000	健康診断料 (4人分)
旅費交通費支出	33,000	出張旅費
研修研究費支出	80,000	職員研修参加費
事務消耗品費支出	223,000	事務用消耗品
燃料費支出	14,000	灯油代
通信運搬費支出	6,000	切手代
会議費支出	3,000	会議時の飲み物代
業務委託費支出	6,000	パソコン入替
手数料支出	20,000	その他手数料
賃借料支出	1,446,000	パソコン・プリンターリース料他
租税公課支出	1,000	！
保守料支出	317,000	サーバー保守料
諸経費	20,000	介護支援専門員協会会費
合 計	25,059,000	

(4) 北部地域包括支援センター運営事業に関する委託料予算書（令和8年度）

社会福祉法人旭福社会

1 収支

収 入	29,165,520
支 出	29,165,520
収 支	-

2 介護予防支援事業

(収入)

項目	金額（円）	説	明
介護予防支援事業収入	2,015,520	4,420円×38件×12か月分	
合 計	2,015,520		

(支出)

項目	金額（円）	説	明
人件費支出	1,830,560	人件費4名分	
車両費支出	13,800	車両消耗品	
事務消耗品費支出	75,900	事務用品購入	
通信運搬費支出	58,000	電話・切手代等	
器具及び備品取得支出	37,260		
合 計	2,015,520		

3 包括的支援事業等

(収入)

項目	金額（円）	説	明
委託料収入	27,150,000	令和8年4月～令和9年3月 (令和8年4月～令和9年3月分として)	
合 計	27,150,000		

(支出)

項目	金額 (円)	説明
人件費支出	19,642,960	人件費6名分
車両費支出	186,200	車両消耗品等
福利厚生支出	85,000	
旅費交通費支出	20,000	出張交通費
事務消耗品費支出	1,024,100	ファイル等事務用品購入費
消耗品器具備品取得支出	502,740	
通信運搬費支出	782,000	電話・切手代
手数料支出	12,000	
諸会費支出	60,000	会費等
リース返済支出	4,570,000	車両・無線機等リース代
保守料	220,000	
研修研究費支出	45,000	研修参加費
合 計	27,150,000	

4 介護予防支援業務委託事業所一覧

旭市中央地域包括支援センター

令和 8年 1月現在

No.	事業所名	事業者名	所在地	備考
1	介護老人保健施設シルバーケアセンター	独立行政法人総合病院国保旭中央病院	旭市	
2	やすらぎ園在宅介護支援センター	社会福祉法人旭福社会	旭市	
3	やすらぎ園在宅介護支援センターひかた		旭市	
4	JAちばみどり居宅介護支援事業所	ちばみどり農業協同組合	旭市	
5	たなべ在宅支援センター	医療法人黒潮会	旭市	
6	恵天堂指定居宅介護支援事業所	社会福祉法人愛仁会	旭市	
7	ロザリオ高齢者支援センター	社会福祉法人ロザリオの聖母会	旭市	
8	ヤックスケアセンター旭	株式会社ヤックスケアサービス	旭市	
9	ヒバリ相談支援事業所	株式会社ひばり	旭市	
10	ケアプランみぎわ	株式会社マナ	旭市	
11	楽天堂居宅介護支援事業所旭	株式会社楽天堂	旭市	
12	楽天堂居宅介護支援事業所匝瑳		匝瑳市	
13	楽天堂居宅介護支援事業所成田		成田市	
14	楽天堂居宅介護支援事業所香取		香取市	
15	あいの樹支援センター	株式会社みきケア	旭市	
16	居宅介護支援センターしらさと	医療法人社団恵晃会	大網白里市	
17	ケアプランふくろう	株式会社ふくろうケアサポート	旭市	
18	介護相談きずな	株式会社きずな	旭市	
19	居宅介護支援事業所太陽	株式会社介護太陽	旭市	
20	指定居宅介護支援事業所なごやか		銚子市	
21	指定居宅介護支援事業所なごやか野尻		銚子市	
22	プリーズ東庄	株式会社プリーズ	東庄町	
23	居宅介護支援事業所真ごころ	特定非営利活動法人南風	旭市	
24	おれんじサポートあさひ	株式会社ワーク&サポートあさひ	旭市	
25	ケアプランセンター輝	株式会社輝	旭市	

計 25事業所 19事業者

介護予防支援業務委託事業所一覧

旭市東部地域包括支援センター

令和 8年 2月現在

No.	事業所名	事業者名	所在地	備考
1	やすらぎ園在宅介護支援センター	社会福祉法人旭福祉会	旭市	
2	やすらぎ園在宅介護支援センターひかた		旭市	
3	JAちばみどり居宅介護支援事業所	ちばみどり農業協同組合	旭市	
4	たなべ在宅支援センター	医療法人黒潮会	旭市	
5	恵天堂指定居宅介護支援事業所	社会福祉法人愛仁会	旭市	
6	ロザリオ高齢者支援センター	社会福祉法人ロザリオの聖母会	旭市	
7	ヤックスケアセンター旭	株式会社ヤックスケアサービス	旭市	
8	ヒバリ相談支援事業所	株式会社ひばり	旭市	
9	ケアプランみぎわ	株式会社マナ	旭市	
10	楽天堂居宅介護支援事業所旭	株式会社楽天堂	旭市	
11	楽天堂居宅介護支援事業所匝瑳		匝瑳市	
12	楽天堂居宅介護支援事業所香取		香取市	
13	あいの樹支援センター	株式会社みきケア	旭市	
14	ケアプランふくろう	株式会社ふくろうケアサポート	旭市	
15	居宅介護支援事業所太陽	株式会社介護太陽	旭市	
16	指定居宅介護支援事業所なごやか	株式会社友成会	銚子市	
17	指定居宅介護支援事業所なごやか野尻		銚子市	
18	ブリーズ東庄	株式会社ブリーズ	東庄町	
19	おれんじサポートあさひ	株式会社ワーク&サポートあさひ	旭市	
20	ケアプランセンター輝	株式会社 輝	旭市	
21	ケアプラン未来	株式会社ケアプラン未来	匝瑳市	
22				
23				
24				
25				

計 17事業所 21事業者

介護予防支援業務委託事業所一覧

旭市北部地域包括支援センター

令和8年1月31日現在

No.	事業所名	事業者名	所在地	備考
1	介護老人保健施設シルバーケアセンター	地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院	旭市	
2	やすらぎ園在宅介護支援センター	社会福祉法人旭福祉会	旭市	
3	やすらぎ園在宅介護支援センターひかた		旭市	
4	JAちばみどり居宅介護支援事業所	ちばみどり農業協同組合	旭市	
5	たなべ在宅支援センター	医療法人黒潮会	旭市	
6	恵天堂指定居宅介護支援事業所	社会福祉法人愛仁会	旭市	
7	ロザリオ高齢者支援センター	社会福祉法人ロザリオの聖母会	旭市	
8	ヤックスケアセンター旭	株式会社ヤックスケアサービス	旭市	
9	ヒバリ相談支援事業所	株式会社ひばり	旭市	
10	ケアプランみぎわ	株式会社マナ	旭市	
11	楽天堂居宅介護支援事業所旭	株式会社楽天堂	旭市	
12	楽天堂居宅介護支援事業所匝瑳		匝瑳市	
13	楽天堂居宅介護支援事業所香取		香取市	
14	あいの樹支援センター	株式会社みきケア	旭市	
15	ケアプランふくろう	株式会社ふくろうケアサポート	旭市	
16	指定居宅介護支援事業所なごやか	有限会社友成会	銚子市	
17	指定居宅介護支援事業所なごやか野尻		銚子市	
18	ブリーズ東庄 居宅介護支援事業所	株式会社ブリーズ	東庄町	
19	居宅介護支援事業所太陽	株式会社介護太陽	旭市	
20	居宅介護支援事業所海のあお	合同会社海のあお	山武市	
21	おれんじサポートあさひ	株式会社ワーク&サポートあさひ	旭市	
22	在宅介護支援センター さざんか園	社会福祉法人恵和会	銚子市	
23	指定居宅介護支援事業所 ケアプラン未来	株式会社ケアプラン未来	匝瑳市	
24				
25				
26				

計 23事業所 19事業者

市内15事業所 市外8事業所